

平成 29 年度米活用畜産物等ブランド化
事業（米活用畜産物等全国展開事業）

国内飼料用米を給与した畜産物（豚肉、鶏卵等） に係る市場調査（WEB 調査等）集計結果

平成 29 年度

平成 30 年 3 月

一般社団法人日本養豚協会 (JPPA)

は じ め に

平成 29 年度米活用畜産物等ブランド化推進事業（米活用畜産物等ブランド化事業）は、米を活用した畜産物や加工品（「米活用畜産物等」）の全国的な認知度を向上させることを目的とするもので、当会が国の補助を受け実施したものです。

具体的な実施内容は、

- ① ブランド化された米活用畜産物等を全国的に広めるための活動内容を検討する検討会及び飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテストを開催
- ② 各地域でブランド化された米活用畜産物等を全国に広めるために必要となる市場調査を実施
- ③ 各地域でブランド化された米活用畜産物等の情報収集・発信を行うとともに、ブランド化された米活用畜産物を広めるため、ロゴマークの管理及び普及
- ④ 各地域でブランド化された米活用畜産物等が一同に会する展示会を開催する等により、食品事業者や一般消費者に紹介などを行いました。

本報告は、②の市場調査（WEB 調査及び FOOD EX 聞き取り調査）の結果をとりまとめたものです。

調査内容は、お米で育った畜産物に関する知名度に関する設問が主なものですが、FOOD EX における調査票の回収は 1, 5 6 3 枚の回収があり、そのうち無回答を除く 1, 5 4 1 枚について、集計・分析を行ったものです。 また、WEB 調査の回答数は 3 0, 0 0 0 人で、それら回答をいただいた方々に全員に

ついて集計・分析を行ったものです。

さらに、詳細に分析をしなければと考えておりますが、大変貴重なデータが得られたのではないかと考えております。

この調査結果が、今後の米活用畜産物の知名度向上に取り組んでいる皆様、生産者など関係者の方々に少しでも参考になれば幸いです。

この印刷物を作成するに当たり、調査に回答いただきました消費者等の方々、また、調査内容の御指導等に御尽力いただきました委員の皆様方に深く感謝申し上げます。

平成 3 0 年 3 月
一般社団法人日本養豚協会 (JPPA)

目 次

1. 調査結果の概況	1
2. WEB 調査集計結果	11
3. WEB 調査票	43
4. FOODEX2018 でのアンケート調査集計結果	61
5. FOODEX2018 でのアンケート調査票	79

調 査 結 果 の 概 要

本調査は、次の2つの調査結果をとりまとめたもので調査の回収状況は以下のとおりとなっている。

① 全国の消費者等を対象とする WEB 調査

平成 29 年 11 月にリサーチ会社に委託して実施した全国の消費者等を対象とした WEB 調査。

WEB 調査の回答は 3 万人。

3 万人すべての回答者について集計・分析を行った。

② FOODEX2018 (平成 30 年 3 月 6 日 (火)～9 日 (金)・幕張メッセ) のアンケート調査

FOODEX2018において「お米で育った畜産物」の普及のため展示会を実施し、来場した方に対して「飼料用米に関するアンケート」を行った。

4 日間での調査票の回収は 1, 5 6 3 枚の回収があり、無回答を除く 1, 5 4 1 枚について、集計分析を行った。

I. WEB調査結果の概要

Q1 日本国内におけるお米の消費量（お米を食べる量）は年々、減少傾向にあります。あなたはこのことをご存知ですか。

・「知っている」が68.7 (70.3) %【20,604 (21,104) 人／30,000人】となっており、知らないが31.3 (29.7) %となっている。

「知っている」の割合について、

・地域別にみると、最高は「北陸」が73.5%、最低は「九州・沖縄」が66.0%となっている。

・年代別にみると、「60歳以上」86.0%と最も高く、「20～30歳代」が58.3%と最も低い。

・性別では、男性が70.8%、女性が66.5%で男性の知っている割合が高い。

(注) () 書きは、前年度調査の数値である。以下同様。

Q2 現在、日本国内では家畜（牛や豚、鶏など）に与える飼料（エサとなるトウモロコシなど穀物類）のうち、約 85%を輸入に頼っていることを、あなたはご存知ですか。

・「知っている」が48.9 (53.5) %、「知らない」51.1 (46.5) %となっている。

・「知っている」の割合について、

年代別でみると格差は大きく、「60歳以上」65.5%が最も高く、「20～30歳代」39.8%が最も低い。

また、性別では「男性」が53.7%と高く、「女性」が44.1%と低い。

Q3 あなたは家畜の飼料（エサ）として、国産飼料用米を与える取り組みがあることをご存知ですか。

- ・「よく知っている」11.3(6.7)％、「聞いたことがある」30.4(33.2)％でこの両者で41.7(39.9)％となっている。

「よく知っている」、「聞いたことがある」の合計割合についてみると、

- ・地域別では、

最高「東北」	49.9％	(前者15.9％・後者34.0％(以下同じ))
最低「近畿」	37.6％	(8.4％・29.2％)
- ・年代別では、

最高「60歳以上」	56.8％	(15.2％・41.6％)
最低「20～30歳代」	36.6％	(10.4％・26.2％)
- ・性別では、

男性	47.3％	(14.7％・32.6％)
女性	36.2％	(7.9％・28.3％)

Q4 あなたは国産米を家畜の飼料として効率的に利用するため、様々な品種改良（食用米より多収量化したり、コスト削減のため倒伏しにくくしたりするなど）が進められていることをご存知ですか。

- ・「知っている」が20.1％、「知らない」が79.9％となっている。

「知っている」の割合についてみると

- | | | | | |
|--------|-----------|-------|-------------|-------|
| 地域別では、 | 最高「東北」 | 24.9％ | 最低「近畿」 | 17.7％ |
| 年代別では、 | 最高「20歳以下」 | 28.6％ | 最低「40～50歳台」 | 17.9％ |
| 男女別では、 | 「男性」 | 25.4％ | 「女性」 | 14.7％ |

Q5 あなたは家畜の飼料（エサ）に国産飼料用米を利用する取り組みにより、どのような効果が期待できると感じますか。（いくつでも）

- ・「より安全性が確保される」が68.8(67.5)％
 - ・「食料自給率の向上が図られる」49.5(49.1)％
 - ・「水田を活用することにより、農地の維持が図られる」39.9(40.0)％
 - ・「お米や卵が美味しくなることが期待出来る」38.3(33.9)％
 - ・「耕作農家、畜産農家の連携により地域の活性化が図られる」29.8(30.2)％など
- 多くの方が「効果が期待できる」と考えており、「効果がない」5.7(6.4)％、「もったいない」5.5(6.8)％と考えている人はわずかとなっている。
- ・地域別、年代別、男女別にみても、ほぼ同様の傾向にある。なお、若い人ほどおいしさを期待しており、年齢とともに安全性を期待している。

Q6 豚肉又は加工品を使った料理を週平均どのくらい食べますか。

- ・「ほとんど毎日食べる」11.1%、「週の大半」21.8%、「週の半分程度」29.7%とこの3区分で62.6%となっており、「週の1～2日程度」27.6%を含めると約9割を占める。
- ・上記3区分でみると、地域別では北陸が64.8%、20～30代67.3%、女性66.2%と高くなっている。

Q7 国産飼料用米で育てた豚肉を生産していることを知っていますか。

- ・「国産飼料用米で育てた豚肉を生産していることを知っていますか」の設問に対し、「知らなかったが興味関心がある」と回答した人は12,718人(42.4(43.5%))、「知っている」と回答した人は5,358人(17.9(13.1%))で、この両方で60.3(56.6)%となっている。
- ・この両者の割合を地域別にみると、「東北」64.6%、「北海道」63.0%と高く、年代別では「60歳以上」が69.8%と最も高く、「20～30代」が57.5%と最も低い。

Q8 国産飼料用米で育てた豚肉を食べたいと思いますか。最も近いものをお選びください。

- ・「国産飼料用米で育てた豚肉を食べたいと思いますか」の設問に対して、「価格次第では購入したい」45.6(45.9)%、「近くで売っていれば購入したい」20.4(20.4)%、「おいしければ購入したい」13.6(13.7)%、「積極的に購入したい」12.5(11.3)%などとなり何らかの形で購入したいとの回答が96.6%であり、潜在的な需要が見込まれる。
- ・年代別、性別でも、ほぼ同様の傾向が見られる。

【Q7で「知っている」と回答した人】

Q9 国産飼料用米で育てた豚肉や加工品を購入(外食含む)したことがありますか。

- ・「Q7. 国産飼料用米で育てた豚肉を生産していることを知っていますか」で「知っている」と回答した人5,358人のうち、「買ったことがある」が2,328人(全回答者に対する割合7.8%)、「購入したいがどこで販売しているかわからない」が2,035人(同6.8%)とわずかとなっている。

【Q9で「買ったことがある」と回答した人】

Q10 国産飼料用米で育てた豚肉や加工品の購入(外食含む)先はどこですか。(いくつでも)

- ・国産飼料用米で育てた豚肉や加工品の購入先について、「スーパー等量販店」68.0(67.7)%が最も多く、次いで「食肉専門店」25.9(21.2)%、「生協」25.6(23.5)%となっている。

【Q9で「買ったことがある」と回答した人】

Q11.国産飼料用米で育てた豚肉やその加工品を購入した理由はなんですか。(いくつでも)

- ・「国産飼料用米で育てた豚肉やその加工品を購入した理由」について、

「味がよさそう」が57.0 (58.5) %

「えさが国産なので安心できる」が57.9 (54.0) %

「健康によさそう」42.6 (43.7) %

「お店での表示、広告等をみて」22.4 (22.1) %

などとなっている。

【Q9で「買ったことがある」と回答した人】

Q12.国産飼料用米で育てた豚肉やその加工品を購入(外食を含む)した印象はどうでしたか。

- ・「国産飼料用米で育てた豚肉やその加工品を購入(外食を含む)した印象はどうでしたか」について、「おいしかったが」が68.6 (69.3) %と最も多く、「従来品と同じくらい」が21.9 (22.9) %、「よくわからない」8.2 (6.3) %、「おいしくなかった」0.6 (1.1) %などとなっている。

【Q9で「買ったことがある」と回答した人】

Q13.国産飼料用米で育てた豚肉を食べてみて、今後どの程度の価格であれば購入しますか。

「国産飼料用米で育てた豚肉を食べてみて、今後どの程度の価格であれば購入しますか」について、

「通常の価格より倍以上であっても購入する」 7.8 (13.5) %

「3割以上高い価格でもあっても購入する」 11.9 (13.6) %

「1～2割程度高くても購入する」 45.2 (39.4) %

の合計をみると 65.2 (66.5%) となっている。

これにより、「国産飼料用米で育てた畜産物」をブランド化し付加価値をつけることにより生産者の経営の安定に繋がることを期待できる。

■鶏卵についてお伺いします。

Q14 鶏卵を使った料理を週平均どのくらい食べますか。

- ・「週の1～2日程度」26.6 (29.1) %、「週の半分程度」25.1 (25.6) %、「週の大半」19.3 (19.0) %、「ほとんど毎日食べる」19.3 (17.7) %となっており、「あまり食べない」6.5 (6.8) %、「全く食べない」1.9 (1.9) %となっている。

Q15 国産飼料用米で育てた鶏卵を生産していることを知っていますか。

・「国産飼料用米で育てた鶏卵を生産していることを知っていますか」の設問に対し、「知らなかったが興味関心がある」と回答した人は12,966(12,505)人(43.1(41.7)%)、「知っている」と回答した人は4,544(3,409)人(15.1(11.4)%)で、この両者で58.2(53.1)%となっている。

・地域別、性別でみると、「知っている」、「知らなかったが興味関心がある」と答えた人の割合は余り格差がない。年齢別では、「60歳以上」が68.6%と高くなっている。

Q16 国産飼料用米で育てた鶏卵を食べたいと思いますか。最も近いものをお選びください。

・「国産飼料用米で育てた鶏卵を食べたいと思いますか」の設問に対して、「価格次第では購入したい」47.2(46.7)％、「近くで売っていれば購入したい」18.8(20.1)％、「おいしければ購入したい」13.8(17.4)％、「積極的に購入したい」12.6(11.4)％などとなり何らかの形で購入したいとの回答が97.1(97.2)％であり、潜在的な需要が見込まれる。

・ブロック別、年代別、性別でも、ほぼ同様の傾向が見られる。

【Q15で「知っている」と回答した人】

Q17 国産飼料用米で育てた鶏卵を購入(外食含む)したことがありますか。

・国産飼料用米で育てた鶏卵の購入先について、Q15で「知っている」と回答した4,544(3,409)人のうち、「買ったことがある」2,194(1,704)人(全回答者に対する割合7.3(5.9)%)、「購入したいがどこで販売しているかわからない」が1,488(1,038)人(同5.0(3.5)%)とわずかとなっている。

【Q17で「買ったことがある」と回答した人】

Q18 国産飼料用米で育てた鶏卵の購入(外食含む)先はどこですか。(いくつでも)

・鶏卵の購入先について、「スーパー等量販店」59.8(60.4)％が最も多く、次いで「生協」24.8(23.4)％、「生産者の直販店」17.7(16.1)％となっている。

【Q17で「買ったことがある」と回答した人】

Q19 国産飼料用米で育てた鶏卵を購入した理由はなんですか。(いくつでも)

- ・「国産飼料用米で育てた鶏卵やその加工品を購入した理由」について、
「味がよさそう」が54.9 (57.1) %
「えさが国産なので安心できる」が56.6 (51.8) %
「健康によさそう」52.6 (49.2) %
「お店での表示、広告等をみて」18.4 (17.0) %
などとなっている。

【Q17で「買ったことがある」と回答した人】

Q20 国産飼料用米で育てた鶏卵を購入(外食を含む)した印象はどうでしたか。

- ・「国産飼料用米で育てた鶏卵やその加工品を購入(外食を含む)した印象はどうでしたか」について、「おいしかったが」が69.0 (67.3) %と最も多く、「従来品と同じくらい」が22.3 (24.5) %、「よくわからない」7.4 (6.3) %、「おいしくなかった」0.8 (1.0) %などとなっている。

【Q17で「買ったことがある」と回答した人】

Q21 国産飼料用米で育てた鶏卵を食べてみて、今後どの程度の価格であれば購入しますか。

「国産飼料用米で育てた鶏卵を食べてみて、今後どの程度の価格であれば購入しますか」について、

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 「通常の価格より倍以上であっても購入する」 | 11.1 (15.2) % |
| 「3割以上高い価格でもあっても購入する」 | 14.3 (15.3) % |
| 「1～2割程度高くても購入する」 | 44.3 (40.2) % |

の合計をみると、鶏卵で69.7 (70.7) %の人が回答。

これにより、「国産飼料用米で育てた畜産物」をブランド化し付加価値をつけることにより生産者の経営の安定に繋がることを期待できる。

■牛肉、乳牛、鶏肉等についてお伺いします。

Q22 .国産飼料用米で育てた牛肉、乳牛、鶏肉等を生産していることを知っていますか。

・「国産飼料用米で育てた牛肉、乳牛、鶏肉等を生産していることを知っていますか」の設問に対し、「知らなかったが興味関心がある」と回答した人は13,381人(44.6%)、「知っている」と回答した人は4,707人(15.71%)で、この両者で60.3%となっている。

・この両者の割合を地域別にみると、「東北」64.0%、「北海道」62.8%と高く、年代別では「60歳以上」が69.9%、「20歳以下」が67.8%、性別では「男性」が61.7%と高くなっている。

【Q22で「知っている」と回答した方】

Q23 .国産飼料用米で育てていると知っている畜産物(豚肉、鶏卵以外)は何ですか。

・Q22で「知っている」と回答した4,707人のうち、「牛肉」が3,781人(80.3%)、「鶏肉」が3,059人(80.3%)、「鶏肉」が3,059人(65.0%)、「乳牛」が2,375人(50.5%)となっている。

【Q22で「知っている」と回答した方】

Q24 .国産飼料用米で育てた牛肉等を食べたいと思いますか。最も近いものをお選びください。

・「国産飼料用米で育てた牛肉等を食べたいと思いますか」の設問に対して、「価格次第では購入したい」44.1%、「近くで売っていれば購入した」22.1%、「おいしければ購入したい」8.9%、「積極的に購入したい」20.4%などとなり何らかの形で購入したいとの回答が98.3%であり、潜在的な需要が見込まれる。

・年代別、性別でも、ほぼ同様の傾向が見られる。

II. FOODDEX2018 でのアンケート結果の概要

2-問1 米の消費量の減少について

- ・「知っている」が75.0(73.0)% (1,155(2,350)人/1,541(3,217)人) となっており、知らないが25.0(27.0)%となっている。
- 「知っている」の割合について、
- ・年代別にみると、「20歳以下」81.0%と最も高く、「20～30歳代」が67.0%と最も低い。
- ・性別では、「男性」が74.1%、「女性」が76.1%で女性の知っている割合が高い。
- ・職業別では、「団体職員」が97.6%と最も高く、「学生」が66.7%と最も低い。

2-問2 家畜に与える穀物類の飼料の約85%を輸入に頼っていることについて

- ・「知っている」が63.4(64.0)%、「知らない」36.6(36.0)%となっている。
- ・「知っている」の割合について、比較的格差が見られるのは年代別で「60歳以上」87.4%が最も高く、「20～30歳代」51.9%が最も低い。
- ・また、性別では「男性」が65.7%と高く、「女性」が59.4%と低い。職業別では、「公務員」が75.0%と最も高く、「会社員」が62.2%と最も低い。

2-問3 家畜の飼料に国産飼料用米を与える取り組みについて

- ・「この会場に来る前から知っている（以下「知っている」という。）」20.7(15.1)%、「聞いたことはある」42.1(34.6)%でこの両者で62.8(49.7)%となっている。「知っている」、「聞いたことがある」の合計の割合についてみると、
- ・年代別では、

最高「60歳以上」	86.6% (41.8%・44.8%)
最低「20～30歳代」	52.8% (14.1%・38.7%)
- ・性別では、

「男性」	63.9% (24.2%・42.4%)
「女性」	56.8% (14.9%・41.9%)
- ・職業別では、

「団体職員」	90.5% (47.6%・42.9%)
「学生」	53.4% (26.7%・26.7%)

2-問4 家畜の飼料に国産飼料用米を利用する取り組みにより、どのような効果が期待できると感じますか（複数回答）

- ・「安全」が74.0(76.2)%
- ・「おいしくなる」34.6(49.1)%
- ・「食料自給率の向上」37.4(43.9)%
- ・「農家の所得向上」25.5(27.5)%
- ・「農地の維持」18.7(24.9)%など

多くの方が効果が期待できると考えており、「効果がない」0.3(1.0)％、「もったいない」3.4(1.6)％と考えている人はわずかとなっている。

- ・性別、年代、職業別にみても、ほぼ同様の傾向にある。特に、「女性」が「安全」81.3％と多くの方が安全の効果を期待している。

2-問5①国産飼料用米で育てたお肉や卵、その加工品を購入（外食を含む）したことがありますか

- ・「買ったことがある」が38.0(29.1)％、「購入したいがどこで販売しているかわからない」が16.2(29.9)％となっており、買ったことがある人の割合はWEB調査の結果より高い水準にある。

【2-問5①で「買ったことがある」と回答した方】

2-問5②国産飼料用米で育てたお肉や卵、その加工品を購入（外食を含む）した印象はどうでしたか。

- ・国産飼料用米で育てたお肉や卵、その加工品を購入（外食を含む）した印象はどうでしたかについて、問5①で「買ったことがある」と答えた回答者に対する割合は、「おいしかったが」が81.8(85.1)％と最も多く、「従来品と同じくらい」が14.1(8.5)％、「よくわからない」3.1(4.6)％、「おいしくなかった」1.1(1.7)％となっている。

3 実際に育てた畜産物を食べていただいて

- ・実際に飼料用米で育てた畜産物を食べていただいて、「おいしかった。興味が出た。また買ってみたい」が98.2(98.4)％となっている。

【バイヤーの方のみ】

国産飼料用米で育てたお肉や卵、その加工品を仕入れたことがありますか。

・FOODEX2018において、調査票記入に協力していただいた方（1,563人）のうち939人がバイヤーの方であった。そのうち当該問に回答いただいた方は35人で、「仕入れたことがある」40.0%、「仕入れたことはないが今後検討したい」45.7%で、この両者で85.7%となっている。

【バイヤーの方のみ】

国産飼料用米で育てた畜産物の仕入、あるいは仕入の検討にあたってどのようなことを重視しますか。

・「味がよい」88.4%で最も多く、次いで「安全に信頼がおける」79.5%、「生産・出荷の管理がしっかりしている」78.4%、「品質が良い」78.0%、「価格水準が妥当」57.1%、「価格面の取引条件が良い」52.9%の順となっている。

WEB 調査集計結果

国内飼料用米を給与した畜産物(豚肉・鶏卵等)に係る市場調査(WEB調査)結果 平成29年11月

Q1-1.日本国内におけるお米の消費量(お米を食べる量)は年々、減少傾向にあります。あなたはこのことをご存知ですか。

		北海道	東北	関東・甲信	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
回答数	合計	3,750	3,750	5,770	2,520	2,960	3,750	3,750	3,750	30,000
	知っている	2,499	2,724	3,875	1,851	2,036	2,513	2,631	2,475	20,604
	知らなかった	1,251	1,026	1,895	669	924	1,237	1,119	1,275	9,396
構成比	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	知っている	66.6	72.6	67.2	73.5	68.8	67.0	70.2	66.0	68.7
	知らなかった	33.4	27.4	32.8	26.5	31.2	33.0	29.8	34.0	31.3

Q1-2.日本国内におけるお米の消費量(お米を食べる量)は年々、減少傾向にあります。あなたはこのことをご存知ですか。

		20歳以下	20~30歳代	40~50歳代	60歳以上	合計
回答数	合計	199	11,801	12,000	6,000	30,000
	知っている	123	6,882	8,440	5,159	20,604
	知らなかった	76	4,919	3,560	841	9,396
構成比	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	知っている	61.8	58.3	70.3	86.0	68.7
	知らなかった	38.2	41.7	29.7	14.0	31.3

Q1-3.日本国内におけるお米の消費量(お米を食べる量)は年々、減少傾向にあります。あなたはこのことをご存知ですか。

		男性	女性	合計
回答数	合計	15,000	15,000	30,000
	知っている	10,622	9,982	20,604
	知らなかった	4,378	5,018	9,396
構成比	合計	100.0	100.0	100.0
	知っている	70.8	66.5	68.7
	知らなかった	29.2	33.5	31.3

Q2-1.現在、日本国内では家畜(牛や豚、鶏など)に与える飼料(エサとなるトウモロコシなどの穀物類)のうち、約85%を輸入に頼っていることを、あなたはご存知ですか。

		北海道	東北	関東・甲信	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
回答数	合計	3,750	3,750	5,770	2,520	2,960	3,750	3,750	3,750	30,000
	知っている	1,836	1,896	2,788	1,204	1,452	1,773	1,876	1,844	14,669
	知らなかった	1,914	1,854	2,982	1,316	1,508	1,977	1,874	1,906	15,331
構成比	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	知っている	49.0	50.6	48.3	47.8	49.1	47.3	50.0	49.2	48.9
	知らなかった	51.0	49.4	51.7	52.2	50.9	52.7	50.0	50.8	51.1

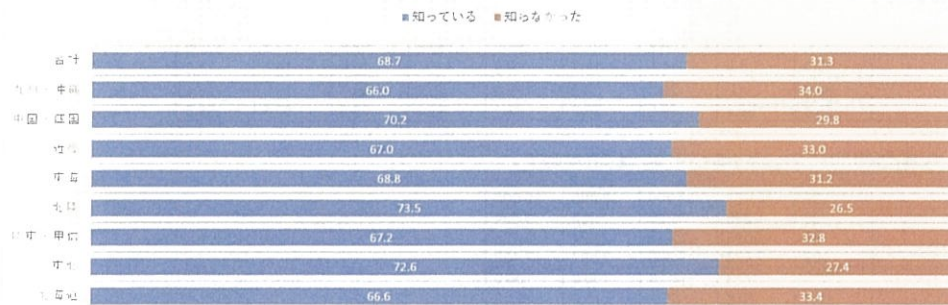
Q2-2.現在、日本国内では家畜(牛や豚、鶏など)に与える飼料(エサとなるトウモロコシなどの穀物類)のうち、約85%を輸入に頼っていることを、あなたはご存知ですか。

		20歳以下	20~30歳代	40~50歳代	60歳以上	合計
回答数	合計	199	11,801	12,000	6,000	30,000
	知っている	99	4,691	5,951	3,928	14,669
	知らなかった	100	7,110	6,049	2,072	15,331
構成比	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	知っている	49.7	39.8	49.6	65.5	48.9
	知らなかった	50.3	60.2	50.4	34.5	51.1

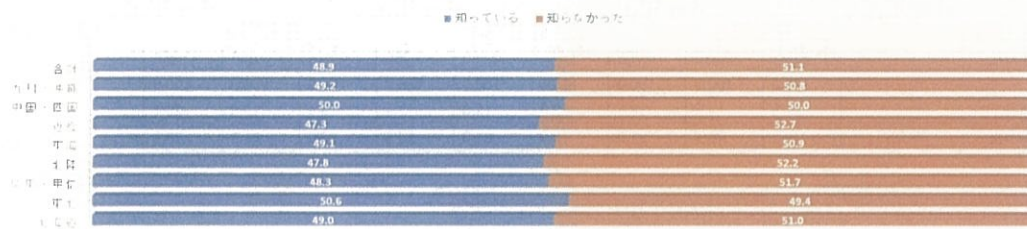
Q2-3.現在、日本国内では家畜(牛や豚、鶏など)に与える飼料(エサとなるトウモロコシなどの穀物類)のうち、約85%を輸入に頼っていることを、あなたはご存知ですか。

		男性	女性	合計
回答数	合計	15,000	15,000	30,000
	知っている	8,050	6,619	14,669
	知らなかった	6,950	8,381	15,331
構成比	合計	100.0	100.0	100.0
	知っている	53.7	44.1	48.9
	知らなかった	46.3	55.9	51.1

Q1日本国内における米の消費量は年々、減少傾向にあることをご存じですか（地域別）



Q2 国内では家畜に与える飼料のうち、約85%を輸入に頼っていることを、あなたはご存じですか



Q3-1.あなたは家畜の飼料(エサ)として、国産飼料用米を与える取り組みがあることをご存知ですか。

		北海道	東北	関東・甲信	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
回答数	合計	3,750	3,750	5,770	2,520	2,960	3,750	3,750	3,750	30,000
	よく知っている	422	597	638	319	293	314	409	402	3,394
	聞いたことがある	1,198	1,276	1,698	775	858	1,096	1,142	1,083	9,126
	知らない	2,130	1,877	3,434	1,426	1,809	2,340	2,199	2,265	17,480
構成比	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	よく知っている	11.3	15.9	11.1	12.7	9.9	8.4	10.9	10.7	11.3
	聞いたことがある	31.9	34.0	29.4	30.8	29.0	29.2	30.5	28.9	30.4
	知らない	56.8	50.1	59.5	56.6	61.1	62.4	58.6	60.4	58.3

Q3-2.あなたは家畜の飼料(エサ)として、国産飼料用米を与える取り組みがあることをご存知ですか。

		20歳以下	20・30歳代	40・50歳代	60歳以上	合計
回答数	合計	199	11,801	12,000	6,000	30,000
	よく知っている	30	1,230	1,225	909	3,394
	聞いたことがある	67	3,095	3,470	2,494	9,126
	知らない	102	7,476	7,305	2,597	17,480
構成比	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	よく知っている	15.1	10.4	10.2	15.2	11.3
	聞いたことがある	33.7	26.2	28.9	41.6	30.4
	知らない	51.3	63.4	60.9	43.3	58.3

Q3-3.あなたは家畜の飼料(エサ)として、国産飼料用米を与える取り組みがあることをご存知ですか。

		男性	女性	合計
回答数	合計	15,000	15,000	30,000
	よく知っている	2,206	1,188	3,394
	聞いたことがある	4,884	4,242	9,126
	知らない	7,910	9,570	17,480
構成比	合計	100.0	100.0	100.0
	よく知っている	14.7	7.9	11.3
	聞いたことがある	32.6	28.3	30.4
	知らない	52.7	63.8	58.3

Q4-1.あなたは国産米を畜舎の飼料として効率的に利用するため、様々な品種改良(食用米より多収量化したり、コスト削減のため倒伏しにくくするなど)が進められていることをご存知ですか。

		北海道	東北	関東・甲信	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
回答数	合計	3,750	3,750	5,770	2,520	2,960	3,750	3,750	3,750	30,000
	知っている	819	935	1,065	555	561	662	726	694	6,017
	知らなかった	2,931	2,815	4,705	1,965	2,399	3,088	3,024	3,056	23,983
構成比	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	知っている	21.8	24.9	18.5	22.0	19.0	17.7	19.4	18.5	20.1
	知らなかった	78.2	75.1	81.5	78.0	81.0	82.3	80.6	81.5	79.9

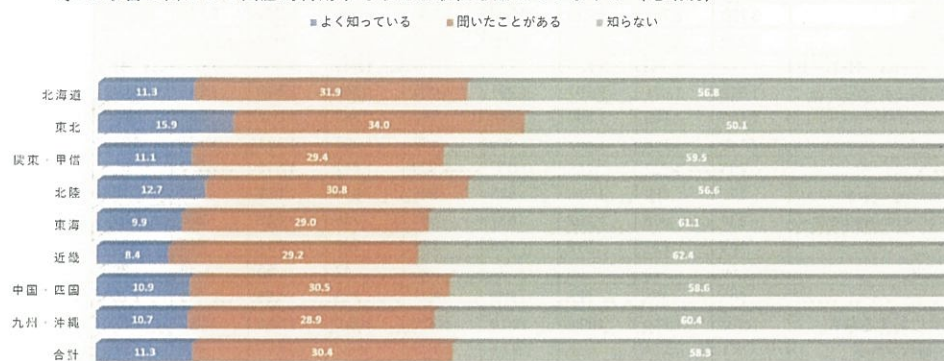
Q4-2.あなたは国産米を畜舎の飼料として効率的に利用するため、様々な品種改良(食用米より多収量化したり、コスト削減のため倒伏しにくくするなど)が進められていることをご存知ですか。

		20歳以下	20・30歳代	40・50歳代	60歳以上	合計
回答数	合計	199	11,801	12,000	6,000	30,000
	知っている	57	2,208	2,151	1,601	6,017
	知らなかった	142	9,593	9,849	4,399	23,983
構成比	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	知っている	28.6	18.7	17.9	26.7	20.1
	知らなかった	71.4	81.3	82.1	73.3	79.9

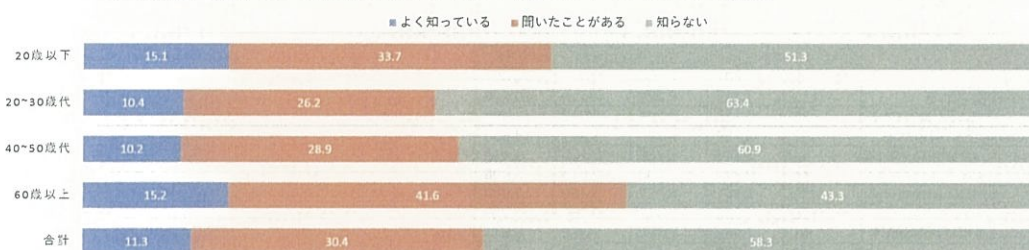
Q4-3.あなたは国産米を畜舎の飼料として効率的に利用するため、様々な品種改良(食用米より多収量化したり、コスト削減のため倒伏しにくくするなど)が進められていることをご存知ですか。

		男性	女性	合計
回答数	合計	15,000	15,000	30,000
	知っている	3,812	2,205	6,017
	知らなかった	11,188	12,795	23,983
構成比	合計	100.0	100.0	100.0
	知っている	25.4	14.7	20.1
	知らなかった	74.6	85.3	79.9

Q3-1 家畜の餌として国産飼料用米を与える取組を知っていますか（地域別）



Q3-2 家畜の飼料として国産飼料用米を与える取組を知っていますか(年齢別)



Q3-3 家畜の飼料として国産飼料用米を与える取組があることをしていますか（性別）

